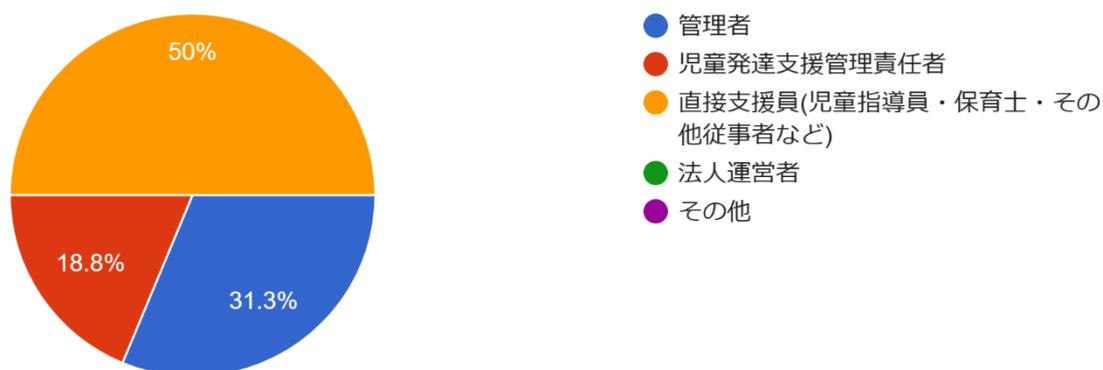


令和4年度

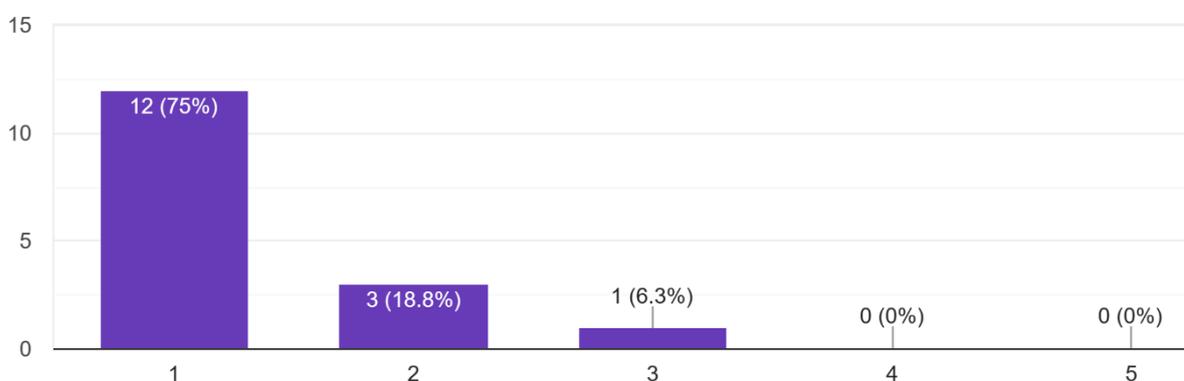
虐待に関する研修会(12/14)アンケート集計結果

16人/33人(回答率48%)

1. 勤務職種について ※兼務の場合は、上位役職を選択してください



2. 講義内容について ※理解できたを1としてチェックをしてください



3. 講義の中で印象に残ったことなどお書きください

- ・ひとくりに虐待といっても、細かく分類される様々な虐待があることを知りました。
- ・管理者として職員さんにどう落とし込んだら良いか?理解しやすいか?という事も課題だが、単純に虐待・身体拘束がいけない事というだけでなく、理由(どうしていけないのか)とゴール(目指すべき正しい状態)を作ってあげると理解しやすいというのが印象的でした。難しく考えすぎず虐待・身体拘束って何でいけないの?というところから職員皆で意見を出し合いたいと思いました。
- ・身体拘束の適正化が難しかった。職員間でゴールを共有することが大切なことを学んだので、今後職員と話し合いを設けていきたいと思います。
- ・色々な事業所さんとグループワークをし、それぞれの意見を聞いたこと。
 - ・経営面での視点や顧客(サービス業)としての視点の必要性。
 - ・経営理念が道しるべであることを改めて、思い直すことができました。ありがとうございました。
 - ・虐待に関しては接する本人が気を付ければ良いと思っていたが、そうではなく職場全体に関わってくる事(コミュニケーション不足や情報や目的の共通理解)だという事を強く感じました。

- ・一番正しいゴールは何かを見つけること、チームとしてコミュニケーションを図りゴールの共有をすること、個別支援計画書が何のためにあるのか、事業所の理念について等、当たり前になっていることが出来ていないと再認識しました。
- ・“虐待“と言われるとつい、身体的な部分にしか意識が向かないことが多いですが、心理的なことから経済的なことまで幅広い面で起こり得ることを改めて気付かされました。一人ひとりの虐待に対する考え方や知識量からズレが生じたり、“虐待のつもりではない”との意識から同じことが繰り返されたりするので、職員全員での研修実施や指針共有をしっかりと行っていくことの大切さがわかりました。今回の研修参加は自分自身の固定観念を崩してもらう意義のあるものとなりました。今回学んだことを職場で共有し、子ども、ご家族、職員、誰にとってもよりよい職場となるよう、環境作りに努めていきたいと思いました。本当にありがとうございました。
- ・「聞いてませんは通りません」が一番印象に残り、すぐにスタッフ間で周知し心に刻みました
- ・虐待も、パワハラも同じ事だという事がものすごく心に刺さりました。相手がそう思えば、虐待だという事・・・職員にも伝えたいと思います。・個別支援計画書などの記録に残すことの重要性、職員間の情報共有の必要性、社内で同じゴールを知り、そこに向けて支援していくことの大切さを感じました。今まで感じていたことの再確認にもなる研修でした。また、虐待や身体拘束の認識について一人ひとり違う中での同じ方針を持って同じ考えや知識を持って支援を行うことが大切と改めて感じました。
- ・今まで「虐待」というと、すごくぼんやりとしたイメージしかありませんでしたが、具体的にどういったことが虐待になるのかが詳しくわかりました。また、虐待を防いでいくためにはどういった取り組みが必要なのかが理解できました。
- ・教唆＝誰かにさせること も虐待になるということ
- ・言葉の定義を共通理解することは大切だと印象に残りました。また、子どもの笑顔の繋がる支援をいつも頭に支援したいです。

4. 研修全体についてご意見、ご感想をお書きください

- ・講師のお話も内容が濃く、いろいろな課題についてグループワークがあったことも良かった。
- ・久しぶりのオンライン以外での研修会・グループワークに参加でしたが、他事業所の方と色々な意見を出し合ってたくさんの生の声が聞けて良かったです。
- ・虐待や拘束などは身近な問題であり、1人だと分からないものも周りの助言で気づくことがたくさんあると思います。その意見をきちんと受け止めていきたいと思いました。
- ・今、虐待のニュースが話題になっている中での研修で、今の自分の支援を見つめなおすことが出来ました。今後も利用者、保護者、スタッフみんなが笑顔で幸せな支援を心がけ、コミュニケーションを大切にしていきたいと思います。ありがとうございました。
- ・委員会でも虐待や身体拘束についてや、行った場合の対応などを伝えてもらっていますが、新入社員の方にも研修を行うという案にとっても大切な事と感じました。役職を持つ職員が新入社員や職員のみなさんにどのように伝えたらよいか、考え方や認識の違いをどう狭めて同じ目的を持つかを教えて頂き、とても参考になりました。
- ・研修に意欲的に参加したくなるような講師の先生の言葉かけや対応がとても良かったです。お話しもわかりやすく、理解を深めることができました。また、協議会のみなさんが親切で参加者のみなさんも話しやすく、グループワークなど緊張してしまうのですが、とてもいい雰囲気の中で参加することができました。いろいろな方との意見交換で、自分では気付けない気付きを得られました。今後も積極的に参加させていただきたいと思いました。今後ともどうぞよろしく願いいたします。
- ・虐待防止委員会をどのように進めていけばよいのかがみえてきた。

- ・お互いに顔が見れるのは良い事だと思います。
- ・グループワークなど、その立場、立場に立っての意見交換ができたので、勉強になりました。また、スタッフ間のコミュニケーションの大切さ、風通しを良くしておくことが、子どもたちへの良い支援に繋がることを実感し、さらに力を入れたいと考えました。
- ・虐待とは何か、身体拘束とはどういうことをいうのかについて学ぶ機会があったが、なぜしてはいけないのか？と根本的な事を質問をされると明確な答えを出せない状況だった。また「療育・訓練・指導・しつけ」について言葉の意味、説明を求められた時には、日頃使っている言葉ではあるものの具体的にその言葉の意味や説明をうまくまとめることができなかつた。今回の研修内容を振り返り職場でも共有したいと思います。
- ・グループワークに参加できた事で色々な方の意見や考えを知ることができ、改めて考え直す機会となりました。
- ・虐待にたいする認識を再度確認出来たことがよかったです。
- ・今回は、事業所全スタッフに受けさせたい研修でした。中々全員参加は難しいですが、またあれば今回参加していないスタッフを参加させたいと思います。ありがとうございました。
- ・グループが豊富で、他事業所の方々と意見交換がたくさんできたことが、新鮮ですごく良かったです。
- ・今回の研修では、虐待に関する価値観のすり合わせ、記録の徹底について、事業所の中でしなければならぬことが明確になり、委員会の運営のイメージがつかえました。
- ・職員のなかでは、情報共有はしていましたが、それぞれの職員のとらえ方や考え方が違うため認識の違いが出てくること、また、虐待や身体拘束をしてはいけない理由をはっきりと言葉にして伝えることができることなど、納得でき勉強させていただきました。児童の将来を考え、ゴールに近づけるよう精進したいと思います。来年、なぜ虐待・身体拘束をしてはいけないのか？職員と一緒にもう一度考え、共通理解していきます。

5. その他

- 今後の研修内容に関する要望、ご意見、こどもふくし協議会へ伝えたいことなどありましたらお書きください
- ・今後も可能な限り対面でのいろんな研修会を開催していただきたいと思います。
 - ・いつも楽しく参加させて頂いています！ ハラスメント、SST、ABA、ストレスケアなどの研修があれば参加してみたいです。
 - ・いつも準備などありがとうございます。今の時期はコロナ感染が気になるので、できたらオンラインでの講義でもよかったのかなと思いました。しかし直接お話を聞けてリアルに意見が聞けるので楽しいですが、難しい所ですね。お疲れ様でした！
 - ・今回グループワークという研修で自分一人の考えではなくいろんな方の意見を知れて考え方の幅に広がりを感じました。参加させていただきありがとうございました。たくさんの方に参加していただきたい研修だと感じました。
 - ・いつも大変お世話になっております。関わらせていただくことで、本当に心強く思い、前に進むことができます。ありがとうございます。今後とも、どうぞ宜しくお願い致します。
 - ・現場経験のある方のお話もたくさん聞いてみたいです。ありがとうございました。
 - ・研修をしていただきありがとうございました。今回は1人の参加でしたが、とても大事な内容の研修だったので、また同じような内容でもいいので、違う職員も参加できたらと思いました。また、これからいろいろな研修にも参加させて考える機会を増やしていきたいと思いました。